

## 審 議 結 果

会 議 名	令和4年度 第3回川口市学校給食運営審議会
開 催 日 時	令和4年10月6日(木) / 午前10時~11時20分
開 催 場 所	川口市役所第二庁舎 地階第1・2会議室
出 席 者 (会長に◎、副会長に○)	◎井上会長、○浅沼副会長、神山委員、伊藤委員、林委員 鈴木委員、新井委員、佐々木委員、大場委員、星野委員 三谷委員、小林委員、高橋委員、笠井委員 茂呂教育長、中川部長、狩野課長、竹内課長補佐、藤倉係長、 大和課長補佐、江森指導主事、吉田主事
議 題	1 学校給食費の改定について 2 その他
公開/非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	2人
会 議 資 料	令和4年度 第3回川口市学校給食運営審議会資料
審 議 経 過	別紙のとおり

## 審 議 結 果

### 議題1 学校給食費の改定について

事務局が説明

#### 【質疑応答概要】

- 委員：『別添 学校給食費改定関連資料 1 川口市の学校給食費（4）令和4年度学校給食費 近隣市町村との比較』について、近隣の市町村に比較して川口市の給食費は安いとのことだが、単純に単価だけでの比較なのか。仕入れ値などの要素もあると思うので、児童生徒数が多ければ単価が安くなりがちだと思うが、児童生徒数を加味した単価の比較を行っているのか。
  
- 事務局：児童生徒数による比較はしていない。例えば、さいたま市などは公会計ではなく、学校ごとの給食費の会計である。食材購入に関しては学校単位でそれぞれ発注している。川口市は公会計で一括発注している。各市会計が様々である。センター配送校と自校調理校とで給食の単価を変えている自治体などもあるが、そのようなところは調達のコストを考慮していると思うが、現状においてはそのような人口比に関しての比較はしていない。
  
- 委員：どんどん物価が上がっている。こういう会議を持たずしても、一食一食の仕入れ単価が上がってしまった場合、給食費は決まっているので、その給食費に見合ったものを仕入れて食べさせるのか、それとも子供たちの栄養を第一に考え、仕入れが赤字になってでも子供たちに食べさせるのか、今後どのような対応になるのか
  
- 事務局：給食費に関しては食材購入については保護者負担、それ以外の学校給食に必要な施設及び設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費、人件費、光熱水費などは公負担というルールである。物価が上昇したからと言って赤字としてまで購入はしていない。上半期の対応として調理の工夫や肉の部位を変えるなどして対応している。子どもたちへの影響が大きかったものとしては、デザートと果物の価格が高く、苦渋の決断であったが、果物の提供回数を減らす対応となってしまった。下半期については、国の交付金を活用して食材購入費を保護者負担なく増額しているため、果物の回数も従前の状況になりつつある。保護者負担が原則というところで赤字負担してまでの購入というのは厳しい状況である。

○会 長：デザートは確かに回数が減った。量が減って、回数が減って、最近は見ない状況である。

○事務局：来年度の価格については、今年度の下半期よりも小学校でプラス3円、中学校でプラス4円とさせていただいた。ここにきて報道で乳製品の価格が11月1日以降値上げになるという報道がされていたことを考慮したものである。

○会 長：異議なしということなので、答申案原案とおり承認。

#### <今後の手続きについて>

○事務局：答申の結果については、教育委員会に諮って教育委員会で決議する。10月20日の教育委員会にこの答申を提出させていただく。教育委員会の中では価格に対する決定をし、委員の皆様からご意見をいただいた、保護者負担軽減策については行政側で議論していきたいと思っている。物価高騰に賃金の上昇が追いつくまでは、市でも、物価・原油価格高騰に対する様々な経済対策・施策を行っている。その中の一つとして下半期の給食費への補助の議論をしていただき決定をしたところである。他の物価・原油価格高騰、円安などの状況を踏まえ総合的に市で判断していきたいと考えている。物価高騰対しては、先日の9月議会の一般質問でも給食費の価格については定期的に継続的に議論すべきではないかとの言及があった。これに対し、市でも毎年、学校給食運営審議会において継続的に審議していくと答弁をさせていただいた。価格に対する議論については毎年度の継続的な議論とさせていただきたいと思っている。それについては今後の物価高騰を見ながら皆様にご意見を伺いたいと考えている。

#### 議題2 その他

- (1) 南鳩ヶ谷小の給食調理室における虫の大量発生について  
事務局が報告

##### 【質疑応答概要】

○委 員：前回（新郷学校給食センター）の場合、お弁当になるまでの日数がもう1日くらいあったような気がするが、同じだったか。本校の実態を考えた時に、ほとんどのご家庭は1日空いてからであれば、お弁当の用意ができると思うが、どうしても用意できないご家庭もあるだろうことは予想ができる。学校も何か月前から、お弁当の日をお知らせしていても持ってこられ

ないご家庭があるなかで、このような事案で給食が提供できないという時には、相談に乗っていただけるとは思うが一具体例で言うと外国籍のお子さんがどうしてもわからないということで難しい面が多々ある—その様な時の支援も考えていただきたい。

○事務局：前回、新郷学校給食センターで、5月下旬にコバエが大量発生した際は、当日は主食と牛乳。翌日は主食とアレルギー対応のふりかけと牛乳。翌々日からお弁当という対応にさせていただいた。●●委員がおっしゃる通り、翌日だと保護者がすぐに対応できないというご家庭が多いと聞いていたので、1日空けてからのお弁当の対応とした。

救給カレーについては、1,000食程度の備蓄で、センター規模で言うと、新郷・南平学校給食センターで約7,000食、元郷学校給食センターで約11,000食という状況である。予算の関係もあるが、市でもできる限り備蓄を進めていきたいと考えている。

お弁当を持ってこられない方への対応についても、カレーだけでなく別の品目もあるようである。こういう緊急事態は、そんなに多くは無いと思うので、対応できるよう学校と協議しながら検討していきたい。

○委員：そういうこと知っているだけでも、学校としては心強いと思う。よろしく願います。

○委員：学校給食費について既に10月から給食費の不足分は実際に上がっている。保護者負担は交付金を活用しているので負担は無いが、教職員の方は上がっている。保護者への説明は丁寧にしてほしいというご意見もでていますが、『10月から保護者の負担増は無いが、実は物価が上がっている関係で不足している。その分値上げをしているが、下半期は交付金を活用しているので保護者の負担はありません』という情報は市としてお手紙を出すなどして提供はしないのか。

私はこの会議に出席しているので経緯はよく理解していて教頭を含め職員に説明をしている。また、市立学校長会でも説明があり、各学校長が職員等に説明していると思うが、市立校長会后、自分も再度説明したがそれでもわかっていない職員がいた。

来年度以降の補助も今後決定していくと思うが、どちらになるにせよ引き続き補助していただくことが決まれば保護者の方は大変うれしいと思う。また、補助が難しく保護者の負担になったとしても、下半期の間は補助してもらっていたということを保護者の方が理解していれば、段階的に補助

してもらっていたがこの物価高なら仕方がないというようにスムーズにご理解いただけるのではと思う。学校ごとにお手紙を出すというよりは、例えば市で現状に対してこのように対応していると知らせていただけるとわかりやすいのではと思うが、そのあたりは何か考えているのか。何もしないのかそれとも学校ごとに対応するのか。

○事務局：今回の下半期の物価高騰に対する国からの補助金を活用した事例については、市全体で川口市緊急総合経済対策支援パッケージということで各事業所、子育て世帯、運送業、民間保育所、介護施設などの福祉施設をトータルで支援したものの一つである。保護者への周知は悩んだところではあるが、学校を通して、また献立表を通して市の施策の説明をさせていただくのはいかがなものかと考えたので、学校を通してお知らせをせず、市の記者会見や報道等を通じての周知に留めさせていただいた。来年度に関しては価格改定ということになるので、それに関しては、価格改定したこと、また、市で議論している来年度の公的な支援の結果については、学校を通して保護者の皆様に市からの文書を配布していただきたいと考えている。

今後のスケジュールは、10月20日開催予定の教育委員会定例会において概ね決定すると考えている。市の公的な補助はどうするかというのは最終的には来年度の予算に関わるので3月議会で議論するところである。最終的な見通しがつき次第お知らせはしたいと考えている。

## (2) 献立について

○事務局：前回の会議において資料として、献立カレンダーを配付させていただいた。前回の会議終了後、●●委員から献立の組み合わせなどについて意見・ご指摘をいただきましたので改めてご説明をお願いします。

○委員：献立表を見る限り、やはりデザート系が少ないように思う。手作りのデザートを提供出来たら、より良くなるのでは。手作りというのは難しいところではあるかと思うが、例えば行事食として、年間でひな祭りや5月5日やその月にある行事の特徴をデザート系のものに取り入れお楽しみデザートのようなものを加えられたらと思う。また、お米に関してですが、比較的いろんなバリエーションでお米が使われていると思った。これに関しては引き続き続けていただきたい。

- 事務局：デザートに関しては手作りということで技術的な問題、時間的な問題もあると思うが、自校調理校で手作りのデザートを提供しているときもあったのでできる範囲でいろいろこちらを試しながら進めていければと思っている。
- 事務局：差間小の3月1日の献立が、「カレー南蛮と蒸しパン」と炭水化物と炭水化物なので、別のおかずのほうがいいのではないというご意見もあった。皆さんの目を見ていただいて、家庭と比べて違和感であったり、幼稚園・保育園と比較して少しこういうところは改善していった方がいいなどのご意見をいただきたい。
- 副会長：幼稚園と公設民営保育所を運営しているが、特に保育園の給食とおやつについては公立の保育所と共通のものを提供している。一方で民設民営の保育園の場合はそれぞれの献立または栄養士が考えた献立や代替食を提供している。給食全般でアレルギー対応等の代替食というのは、給食センターで管轄があるとのことだが、統一して提供しているとリスクマネジメント的に行っていることがあれば改めてご紹介いただきたい。
- 事務局：川口市の給食の中で、現在、代替食として提供できているのは元郷学校給食センターの配送校である。乳と卵を除去した献立の提供のみにとどまっている。ほかの施設に関しては、アレルギー対応食を作るような設備が整っていないというのも一つの理由である。基本的にはアレルギー等で食べられない食品が入っているものについては、そのおかずを除去して食べない、また別のものを持ってくるなど、完全にお弁当を持参という児童生徒もいる。自校調理校においては可能な範囲で対応している学校もある。例えば卵スープであれば卵を入れる前に一度そのスープを取っておいて、その分を卵アレルギーのお子さんに提供するなど、限られた対応しかできていない状況である。川口市の食物アレルギーを持つ児童生徒数は、小学校児童約30,000人のうち約1,400人が食物アレルギーを持っている。中学校については生徒約14,000人のうち、800人くらいがアレルギー対応をしている。また、アレルギーの種類も多岐にわたっているので基本的には代替食の提供は困難である。
- 副会長：幼稚園・保育園など三校あり、アレルギーも多様性が広く対応は難しい状況である。こちらとしてもアナフィラキシーが予期せず起きてしまって幼稚園協会としても継続審議しながらどう対応していくか。また、医療機

関とも提携しながら、仮に起きてしまった場合にホットラインという形で円滑に医療提供体制の整っている施設に移行できるように、本園もそうであるが、協会の中でも意識しながらやっている。

中学校に上がっていく中で、当然アレルギーが克服され、幅もある程度狭まってくるお子さんもいるだろうが、小学校というデリケートな時期であるので医療機関との連携であったり、起きないように注意はしているが起きてしまった場合にどう対応できるかなど、市としても幼稚園も含めてマニュアルなどお示しいただけるとより良いのではないかと改めてお願い申し上げます。

○委員：情報提供になると思うが、「大貫メニュー」が提供されている日があるのは皆さんご存知だろうか。給食の献立であるが、小学校は5年生で大貫海浜学園へ行く。そのときに子供たちもとても楽しみで美味しく食べているのが「はかりめご飯」、「アジフライ」など大貫ならではのメニューがある。コロナの関係で大貫に行けなくなってしまったときに、自校給食（独自献立）でそのメニューを提供したという話があった。自校給食（独自献立）であれば、対応が可能ということで、提供してもらったということがあった。その次の年に、元郷学校給食センターでもそのようなお話をお願いしてみたところ、メニューを考えていただき、そのようなメニューを提供していただくことができた。こういったことは、栄養士や、知っている人たちのネットワークで広まっているようなので、市全体として、栄養士などに相談することによって柔軟な対応が可能になると思う。例えば、行事食や6年生が考えたメニューを提供することなどもできるのではないかと思う。水上メニューが無いのであれば、中学校で大貫メニューを提供してもいいと思う、「小学校5年生で行ったよね」という形になって子どもたちにとっても良いと思う。

○事務局：「水上メニュー」はないが、一昨年については、大貫海浜学園、水上自然の家も中止になっていた状況である。昨年度・今年度に関しては日帰りで行っている。大貫に関しては給食施設という扱いであるので、現地ではかりめご飯やアジフライを提供している。そのアジフライは地元でも有名な行列のできるお店で紹介しているところと同じ肉厚のアジを使っているということで、子どもたちも喜んでしつぽまで食べているようである。例えば4年生で大貫メニューを食べると、来年大貫に行ったときにこれと同じものが食べられるという楽しみにつながると思うので、各献立を立てている栄養士に伝えたいと思う。

○会 長：価格が改定することで、少しまたデザートや行事食が増えたり、メニューのバリエーションが増えるなどできたらいいと思う。よろしく願います。

○会 長：これで議長の任を下り、進行を事務局に戻す。

○事務局：これをもって、第3回審議会を終了する。

会議の内容については、以上のとおりです。

令和4年11月14日

川口市学校給食運営審議会会長

\_\_\_\_\_  
(井上会長署名)

川口市学校給食陰影審議会委員

\_\_\_\_\_  
(三谷委員署名)